

就労継続支援A型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	JAFLO西広島	事業所番号	3410215234
住 所	広島市西区己斐本町1-5-8	管理者名	岡山 悦子
電話番号	082-208-0970	対象年度	令和4年

地域連携活動の概要

<活動内容> 活動場所 西区天満町4-1、西区中広町1-2-12 実施日程 令和4年4月1日～令和5年3月30日 実施した生産活動・施設外就労の概要 利用者20名 弁当の盛付け、まぜそば店による調理補助、縫製作業、芋けんぴ製造	<活動の様子> 活動の様子の写真  
<目的> 地域連携活動のねらい 地域、企業、商店など、お互いにふれ合う機会ができる 地域にとってのメリット 潜在的な顧客層の獲得にも繋がり、人の流れができる 対象者にとってのメリット 生活圏外に出かける機会が増すため、視野が広がる	仕出し弁当盛り付け まぜそば調理 成果物の写真  
<成果> 実施した結果 課題は残るものの、想像以上にいい結果だったため、連携を継続 得られた成果 今まで気付かなかった課題も発見でき、更なる効率化を図れる 課題点 役割分担や作業細分化することで能動的な作業が可能となる ただしそのための具体的なスキーム構築が必要	肉弁当撮影 芋けんぴ梱包 活動内容の追加コメント 厨房設備を活用して、複数の生産活動（食品加工）を請け負い、ロスの少ない作業環境を整えながら行う。  芋けんぴシーリング

連携先の企業等の意見または評価

連携した結果に対する意見または評価 さらなる生産性の向上が課題となる。作業を細分化し、請負が可能な作業のみを委託するため、手間が増える場面が目立つ。職業指導員との協議を定期的に行い、双方にとってより良い環境作りと仕組み作りが必要。利益率改善のための施作を提案 今後の連携強化に向けた課題 連携を強化するためには、職業指導員と頻繁に協議し、お互いの問題点を提起する事。またその問題点を1つ1つ潰していく。時間を要するため、そのためのコミュニケーションの時間をどのように設けることができるかが課題。			
連携先企業名	合同会社ユイツムニ、有限会社ユニークアークティクルジャパン、株式会社尾道ファーム、アグリード	担当者名	高橋